

第 61 回日本神経学会学術大会のお知らせ

第61回日本神経学会学術大会
大会長 阿部 康二

開 催 概 要

1. 学術大会会期：2020年5月20日（水）～23日（土）
「今日の臨床，明日の臨床～The Times They Are A-Changin'～大還暦へ向けての新たな第一歩」をテーマとして，上の日程で開催致します。
2. 学術大会主会場：岡山コンベンションセンター
〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町14番1号
TEL: 086-214-1000 FAX: 086-214-3600
ホテルグランヴィア岡山
〒700-8515 岡山県岡山市北区駅元町1番5
TEL: 086-234-7000 FAX: 086-234-7099
3. 事前参加登録：2019年12月2日（月）正午～2020年4月10日（金）17:00 予定
※事前参加登録はすべてオンラインにより登録を行います。
※学会主催教育セミナー（日本神経学会第15回専門医育成教育セミナー，第17回生涯教育セミナー「レクチャー」「Hands-on」，第7回メディカルスタッフ教育セミナー）もオンラインによる事前登録制です。
※今大会では，「教育コース」の事前参加登録は行いません。広めの会場ですので，当日先着順でご参加いただけます。
※詳細は大会ウェブサイト「オンライン事前参加登録」をご確認ください。
(<https://www.neurology-jp.org/neuro2020/registration/index.html>)
事前参加登録開始前に，今一度ご自身の会員登録情報のご確認をお願いいたします。
ご所属やご住所，ご連絡先メールアドレスに変更がある場合は，必ず神経学会会員マイページにて情報をご修正いただいてから，期間内に事前参加登録を行ってください。
事前参加登録システム上では，会員登録情報の修正は行えませんので，ご注意ください。

4. 参加費：

		事前	当日
会 員	正会員	15,000 円	18,000 円
	研修医会員 *1	3,000 円	3,000 円
	学生会員（大学院生） *2	—	3,000 円
	学生会員（学部学生） *3	—	無料
	メディカルスタッフ会員	3,000 円	3,000 円
	外国人会員	3,000 円	4,000 円
非 会 員 *6	非会員（医師）	18,000 円	21,000 円
	非会員（企業）	18,000 円	21,000 円
	非会員（その他）	18,000 円	21,000 円
	メディカルスタッフ *4	8,000 円	8,000 円
	初期研修医 *5	3,000 円	3,000 円
	大学院生 *5	—	3,000 円
	海外参加者	5,000 円	6,000 円
	学部学生・日本滞在中の外国人留学生 *3	—	無料
メディカルスタッフ教育セミナーのみの参加 (5月23日（土）)		1,000 円	1,000 円

その他	全員懇親会（5月20日（水））	3,000円	3,000円
	プログラム・抄録集 *7	4,000円	4,000円
	ポケットプログラム（日本語版）	—	1,000円

- *1 2020年5月会期当日の時点で研修医会員としてご入会いただいている初期研修医の方のみ対象となります。
- *2 大学院生で正会員になられている方は、必ず「正会員」の料金で事前参加登録をお願いいたします。学生会員枠には当てはまりませんのでご注意ください。
- *3 学部学生・日本滞在中の外国人留学生は事前に登録する必要はございません。学部学生・日本滞在中の外国人留学生の方は、会員、非会員にかかわらず、学会当日、受付窓口にて「ID」をご提示ください。
- *4 医師以外の医療介護福祉関係者、非会員のメディカルスタッフの方は学会当日、受付窓口にて、「メディカルスタッフ証明書」をご提出ください。
（「メディカルスタッフ証明書」は、大会ウェブサイトよりダウンロードしてください。書式が2種類ありますが、どちらか可能な一方をご提出ください（両方ご提出いただく必要はありません）。）
- *5 非会員の大学院生の方は学会当日、受付窓口にて「大学院生証明書」をご提出ください。
（「大学院生証明書」は、大会ウェブサイトよりダウンロードしてください。）
非会員の初期研修医の方は学会当日、受付窓口にて、「初期研修医証明書」をご提出ください。
会期当日の時点において「大学院生」、「初期研修医」であることが条件となりますのでご注意ください。
- *6 非会員の参加費は税込（10%）です。
- *7 学術大会参加費に含まれておりませんので、ご希望の方はお申し込みください。事前送付いたします。事前参加登録の有無にかかわらず、会員には「ポケットプログラム（日本語版のみ）」を事前送付いたします。

5. 宿泊予約

参加者向けの宿泊予約申し込みを開始しております（締切り：2020年4月17日（金））。第61回学術大会ウェブサイト（<https://www.neurology-jp.org/neuro2020/registration/lodging.html>）の宿泊案内ページよりアクセスしていただき、お問い合わせ・お申し込みくださいますようお願いいたします。

6. 託児所

会期中に託児所をご用意いたします。お申し込み方法などにつきましては、追ってホームページでご案内いたします。（<http://www.neurology-jp.org/neuro2020/>）

7. お問い合わせ

【大会長校事務局】

岡山大学脳神経内科学

〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町 2-5-1

【第61回学術大会運営事務局】

〒700-0023 岡山県岡山市北区駅前町 2-1-7 JR 西日本岡山支社ビル 1階

株式会社日本旅行 コンベンショングループ内

TEL: 086-259-5578 FAX: 086-250-7682

E-mail: neuro2020@wjcs.jp

【日本神経学会事務局】

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-21 一丸ビル 2階

TEL: 03-3815-1080 FAX: 03-3815-1931

各種企画のお知らせ

☒…英語セッション

1. 大会長講演 (5月21日(木)午後 予定) ☒
阿部 康二 (岡山大学医学部脳神経内科学 教授)
2. 特別講演 1 (5月21日(木)午後 予定) ☒
Hyslop (Director, Tanz Center for Research in Neurodegenerative Diseases, University of Toronto, Canada)
「Challenges of neurodegenerative disease (tentative)」
特別講演 2 (5月22日(金)午後 予定)
大内 尉義 (虎ノ門病院院長)
「老年医学からみた脳神経内科の展望 (仮)」
特別講演 3 (5月22日(金)午後 予定)
武田 雅俊 (藍野大学学長/前大阪大学精神医学教授)
「精神医学からみた脳神経内科の展望 (仮)」
特別講演 4 (5月23日(土)午前 予定)
森 啓 (大阪市立大学特任教授/田宮病院顧問/前日本認知症学会理事長)
「日本が今後目指すべきアルツハイマー病研究の方向性 (仮)」
特別講演 5 (5月23日(土)午前 予定)
内山真一郎 (山王メディカルセンター脳血管センター長/第36回日本脳卒中学会総会会長)
「日本が今後目指すべき脳卒中研究・臨床の方向性 (仮)」
3. 特別科学文化講演
浅野孝雄先生 (脳科学者, 作家, 埼玉医大脳外科名誉教授, 小川赤十字病院名誉院長)
「脳と心のサイエンス (仮)」
4. WFN Special Lecture
Tissa Wijeratne (Western Health, La Trobe University, University of Melbourne)
5. 2019年度学会賞受賞者招待講演 (5月21日(木)午後 予定)
6. 中四国ブロック企画 特別セッション～中国四国地域発で世界的に展開した学術業績～ From the local Chushikoku to the World (5月21日(木)午前, 5月23日(土)午前 予定)
7. Emerging Asian Neurology 1 (5月21日(木)午前 予定) ☒
Emerging Asian Neurology 2 (5月22日(金)午前 予定) ☒
8. Vas-Cog Asia/Japan Joint Symposium (5月22日(金)午後 予定) ☒
9. (仮称) 日本神経学会・脳神経外科学会合同シンポジウム (5月21日(木)午後 予定) ☒
10. 学術プログラム: Neuroscience Frontier Symposium/ ホットトピックス/ ガイドラインコース/ シンポジウム等 (予定)
5月20日(水)午前
・PSP/CBD: 神経画像の進歩
・Alzheimer's disease from the viewpoint of sleep medicine ☒
・神経学先進国における Neuro-ICU の現状とわが国の歩み
・総括! MS・NMOSD の治療法 Update
・めまいを科学する

- ・ビッグデータを使った多因子疾患の理解
- ・Front line of neuromodulation by non-invasive brain stimulation—from basic to clinical [E]

5月20日(水) 午後

- ・遺伝性痙性対麻痺 (HSP) の最前線
- ・A novel approach to decipher molecular mechanisms of human demyelinating diseases [E]
- ・急性期脳卒中インターベンションへの新たなアプローチ
- ・生命金属で切り開く神経疾患の解明
- ・Reappraisal of electrodiagnostic tests for myasthenia gravis and Lambert-Eaton myasthenic syndrome [E]
- ・Therapies for Parkinson's Disease: Now and on the horizon [E]
- ・ミトコンドリア病 UPDATE
- ・前臨床に有用な ALS モデルを考える
- ・CIDP: 病態解明から新規治療へ
- ・認知症診療のピットフォール
- ・Dawn of new era: management of migraine headache [E]
- ・Future prospects of drug development for neurological disorders by major pharmaceutical companies and Public Private Partnership [E]

5月21日(木) 午前

- ・パーキンソニズムを呈する神経疾患の画像診断
- ・神経変性“因子”のイメージング研究最前線
- ・Current challenges in gene therapy for central nervous system disorders [E]
- ・神経難病医療の現在地
- ・次世代 ALS 治験: 国内 ALS 医師主導治験から浮かび上がる課題とは?
- ・ジストニア update
- ・新ガイドライン 1: ジストニア・SCD/MSA・HAM
- ・難治性頭痛の克服にむけて
- ・ニューロパチーにおける病態解明と治療の最前線
- ・Preparing for disease-modifying therapies in PD—From biomarkers, animal models to novel therapeutic approach [E]
- ・Is the concept of embolic stroke of undetermined source (ESUS) dead or alive? [E]
- ・AI・BMI を活用した脳神経内科の未来

5月21日(木) 午後

- ・神経難病の災害医療の過去・現在・未来 = 東日本大震災から 10 年を前にして =
- ・小児期発症神経・筋疾患の小児-成人移行医療における現状と課題
- ・New approaches aimed for the development of disease modifying therapies of Alzheimer's disease and other dementia diseases [E]
- ・Autoimmune epilepsy [E]
- ・夢に描く難病医療と支援: 難病法の下での課題と展望
- ・世界をリードするプリオン病研究, さらなる高みを目指して
- ・脳卒中・循環器病対策基本法と日本神経学会
- ・神経内科医が知っておきたい神経病理の基礎知識
- ・知っておきたい! 進化する難治性筋疾患の新展開
- ・神経疾患の新しい臨床症状評価・診断法
- ・脳神経内科における遠隔医療・オンライン診療の現状とこれから
- ・プロテイノパチー克服への道程

5月22日(金) 午前

- ・The Implication of Autophagy in Alzheimer's disease and Dementia [E]
- ・「基礎～臨床, 学会横断シンポジウム」未来の疾患治療のために基礎科学に目を向けてみよう
- ・Latest Advances in the Treatment of Ischemic Stroke [E]
- ・Original discovery and therapy for SCA from Japan to the world [E]
- ・いつまで治療を続けるのか?

- ・ まるごと 2 時間封入体筋炎～ up to date と pitfall ～
- ・ こんなにも面白い神経学の歴史
- ・ 自己免疫性脳炎の最前線
- ・ Sleep disorders and synucleinopathies:basic to clinical approach [E]
- ・ 国際化—日本神経学会はどこを目指すのか？
- ・ 認知症における脳機能画像の進歩
- ・ ニューロトキシコロジー：臨床医が理解すべき病態と治療の最新情報

5月22日（金）午後

- ・ 日本発 遺伝性神経筋疾患 最新の発見
- ・ 難病患者の意思決定を支える臨床倫理コンサルテーション
- ・ 神経免疫疾患の個別化医療：現在と将来
- ・ The concept of MOG-IgG positive diseases [E]
- ・ 代謝性疾患 治療とマネジメントの最先端 学生時代の常識は通用しない！
- ・ 未来志向の働き方改革：10年後の神経内科診療に向けての5人の女性医師からの提言
- ・ Development of new frontier for elucidation of multiple system atrophy [E]
- ・ 側頭葉てんかんの新展開
- ・ α -シヌクレイン研究の現状と未来—up to date—
- ・ An update on diagnostic and prognostic biomarkers in Parkinson's disease [E]
- ・ 頰椎・腰椎症を含む脊椎疾患のホットトピックス
- ・ 脳肉眼診断の極意—ローテクのみでここまで鑑別できる—
- ・ What does basal ganglia do physiologically and pathophysiologically? [E]
- ・ Leading edge of ALS research [E]
- ・ 神経難病に対する神経リハビリテーション：可塑性から臨床アウトカムへ
- ・ 脳神経内科のキャリアパス：訪問診療、在宅診療の要としての脳神経内科医
- ・ 脳神経内科基本領域化に向けて
- ・ State-of-the-art basic research for Alzheimer's disease [E]
- ・ 明日の臨床につなげる MRI の可能性と臨床応用
- ・ パーキンソン病の摂食嚥下障害対策
- ・ タウオパチー最新の知見
- ・ 稀な認知症疾患の画像と病理

5月23日（土）午前

- ・ Cerebral small vessel disease up-to-date [E]
- ・ IgG4-mediated diseases—分野・領域の垣根を越えて病態に迫る—
- ・ Current challenges in regenerative medicine for central nervous system disorders [E]
- ・ 開業でも大活躍、成功する脳神経内科のキャリアパス
- ・ 新ガイドライン2：ジストニア・SCD/MSA・HAM
- ・ 働き方改革：今、必ず押さえるべきこと
- ・ Update of Oligonucleotide Therapy for CNS diseases; From Basic to Clinic [E]
- ・ 神経感染症、新たな時代
- ・ パーキンソン病の非運動症状：症候から病態、疾患修飾への関与まで
- ・ Toward Early Diagnosis of ALS [E]
- ・ 舞踏病の最前線

11. レクチャーマラソン

5月20日（水）午前

- ・ 神経変性疾患の脳画像（仮）
- ・ PET 画像を駆使した脳疾患病態（仮）

5月20日（水）午後

- ・ 末梢神経障害診断のポイント（仮）
- ・ パーキンソン病診療ガイドライン 2018（仮）

5月21日(木)午前

- ・経頭蓋磁気刺激法の最新動向(仮)
- ・神経内科医が取り組む特許開発(仮)

5月21日(木)午後

- ・開業神経内科医の認知症対応(仮)
- ・神経変性疾患の分子生物学的病態解明(仮)

5月22日(金)午前

- ・神経内科医による血管内治療の現状(仮)
- ・脳卒中急性期診療の最新トピックス(仮)

5月22日(金)午後

- ・神経変性疾患の分子病態(仮)
- ・電気生理学検査の基本をマスターしよう(仮)
- ・認知症と small vessel disease 最新情報(仮)
- ・超高齢社会における認知症の実態(仮)

5月23日(土)午前

- ・多発性硬化症と NMO の最新情報(仮)
- ・デバイスで広げる神経内科の地域診療(仮)

12. 教育コース

5月20日(水)午前

- ・虚血・出血・認知症～広がり続ける脳小血管病の世界
- ・片頭痛だけが一次性頭痛じゃない；ゾーンに入った頭痛診療を目指して
- ・仮面舞踏会(臨床)の楽屋裏(神経病理)を覗く—臨床の鑑別力を高めるために—
- ・International Education Course 1

5月20日(水)午後

- ・ALSの人工呼吸器装着後の治療とケア
- ・てんかん発作か発作性運動異常症か、それが問題だ。(Seizures or involuntary movements, that is the question.)
- ・新しい筋疾患のガイドライン、筋強直性ジストロフィーと重症筋無力症診療ガイドラインのエッセンスと最近のトピックを学ぼう

5月21日(木)午前

- ・症例で学ぶ認知症道場 あなたの診断は？
- ・疾患修飾薬使用中の多発性硬化症患者のモニタリングの仕方：最前線と実臨床
- ・脳神経内科医に必要な脳死・臓器組織提供の知識
- ・International Education Course 2

5月21日(木)午後

- ・末梢神経疾患を知ろう
- ・目で診る Movement disorders の臨床
- ・脳神経内科医が知っておきたい睡眠ポリグラフ検査(PSG)

5月22日(金)午前

- ・筋電図塾 in 岡山
- ・もっと学びたい！今日から役立つ神経リハビリテーション
- ・老年期神経疾患の画像診断 tips；典型例と非典型例を識る
- ・International Education Course 3

5月22日(金)午後

- ・めまいと眼球運動障害を簡単に理解するコツ
- ・知っていて、解っていない神経診察の基本
- ・臨床病理カンファレンス
- ・頭痛学入門：明日から始める一歩踏み込んだ頭痛診療
- ・アクセプトされる論文の書き方


・キソから学ぶ筋疾患

5月23日(土)午前

・医学生・初期研修医のための神経診察実習—神経診察を学ぼう—

・ここまで来ている！最新の脳卒中診療

・ライフスタイルに鍵あり！？科学的アプローチから認知症の予防，早期発見，治療，ケアを学ぼう！

・International Education Course 4 

13. メディカルスタッフセッション (5月22日(金)・23日(土)予定)

14. 学生・研修医セッション (5月23日(土)予定)

15. 各種共催セミナー

16. 脳神経内科ウィーク (市民公開講座) (5月20日(水)～5月23日(土)予定)

17. 日本神経学会主催セミナー (事前登録制)

・第17回生涯教育セミナー「レクチャー」(5月20日(水)午前・23日(土)午後 予定)

・第17回生涯教育セミナー「Hands-on」(5月20日(水)午前・23日(土)午後 予定)

・第15回専門医育成教育セミナー (5月20日(水)午前・午後 予定)

・第7回メディカルスタッフ教育セミナー (5月23日(土)午後 予定)

・市民講座 (5月24日(日)午後 予定)

※プログラムの最新情報については，大会ウェブサイトをご確認ください。